

# 一般競争入札公告

役務の提供等の一般競争入札について、次のとおり公告する。

令和8年2月27日

公益財団法人環境科学技術研究所  
総務部長 佐々木 昭吉



## 1. 競争に付する事項

- 1) 件名：沿岸海域における海水及び堆積物採取作業
- 2) 仕様等：仕様書のとおり

## 2. 入札方法

- 1) 入札当日参加者名簿に会社名、出席者名（代理可）を必ず記入すること。
- 2) 入札書は原則として封書にて提出すること。
- 3) 入札する額は、作業に要する費用の総額とする。
- 4) 落札決定に当っては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額とする）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- 5) 入札は当研究所の予定価格に達するまで3回を限度として行う。1回目に提出する書類は入札書及び見積書とし、以降2、3回目については入札書のみとする。
- 6) 2回目の入札に付し落札者がいない場合において、1者を除いて他の入札者がすべて辞退した場合又は1者を除いて他に有効な入札を行った者がいない場合は、以後の入札は行わずに、その1者との随意契約により契約を締結する。
- 7) 3回目の入札に付し落札者がいない場合は、最低入札価格提示者と随意契約により契約を締結する。
- 8) 第1回目のみ入札書を郵送（書留扱いに限る）により提出することができる。この場合は令和8年4月3日（金）17時までに総務部総務課契約係に到着することを要し、封皮には「令和8年4月6日（月）執行 沿岸海域における海水及び堆積物採取作業入札書」と明記すること。（入札書及び見積書に記載する日付は開札日とすること。また、封筒には質問書の原本も同封すること。）

## 3. 入札に参加する者に必要な資格

- 1) 入札に参加を希望する者は、以下のいずれかの参加資格を有することを証明する書類を令和8年3月31日（火）17時までに提出すること。なお、当該参加資格を申請中の場合は、申請中であることを証明する書類を提出することとし、入札の日時までに参加資格を有することを証明する書類を提出すること。
  - (1) 当研究所の競争参加資格「役務の提供等（D. 環境系調査及び研究関連業務）」の認定を受けた者。
  - (2) 国の競争参加資格「全省庁統一資格」において前号に相当する競争参加資格の認定を受けた者。
  - (3) 自治体の行政機関において前号に相当する競争参加資格の認定を受けた者。
- 2) 入札に参加を希望する者は、本入札の公告日から開札の時までの間に、国又は自治体の行政機関において指名停止の措置を受けていないこと。

## 4. 交付期間

交付の日から令和8年3月27日（金）17時まで

## 5. 入札・開札の日時及び場所

令和8年4月6日（月）13時30分

公益財団法人環境科学技術研究所 本館1Fセミナー室

上記日時に遅れたときは、入札に参加することができない。

## 6. 契約条項及び仕様書を示す場所

〒039-3212

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈字家ノ前1番7

公益財団法人環境科学技術研究所

総務部総務課契約係 金澤 佳織

（業務請負契約条項及び仕様書等を配付します）

## 7. その他

別紙のとおり

## 補 足 説 明 事 項

- 1) 契約書作成の要否  
不要
- 2) 入札の無効
  - (1) 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札
  - (2) その他入札条件に違反した入札
- 3) 契約手続きについて使用する言語及び通貨  
日本語及び日本国通貨
- 4) 入札者に求められた義務  
入札者が作成した書類等は当研究所において審査し、採用し得ると判断した場合の入札書のみを入札の対象とする。また、提出した資料について説明を求められた時は、これに応じなければならない。
- 5) 落札者の決定方法  
本仕様書を満足できると判断した場合の入札書のうち、予定価格の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。落札となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、くじ引きによる抽選により落札者を決定する。  
入札は、契約の申込として取り扱う。
- 6) 入札保証金及び契約保証金  
免除する
- 7) 支払条件  
検査払い
- 8) 必要書類  
入札には以下の書類を持参すること。
  - (1) 入札書：3枚
  - (2) 見積書：公益財団法人環境科学技術研究所 佐々木 昭吉 宛  
(入札書に記載する金額の内訳を記載すること。)
  - (3) 見積書用紙：複数枚  
(「(2) 見積書」の中で、値引き額及び値引き後合計額が記載されていないもの。随意契約時に金額を記入のうえ提出すること。)
  - (4) 質問書：原本
  - (5) 委任状、その他これに準ずる書類：代理人（随意契約に関する権限も有すること）をもって入札する場合に提出すること。
- 9) 現場説明  
無し
- 10) 質問書
  - (1) 提出期限：令和8年3月31日(火)：12時まで  
入札に参加を希望する者は、質問の有無に関わらず、電子メールにて質問書を提出すること。
  - (2) 回 答：令和8年4月2日(木)13時～17時  
質問があった場合、上述の時間内に電子メールにて回答する。なお、回答は、入札に参加を希望する者全てに一斉送信する。
  - (3) 質問書の提出先  
総務部総務課契約係 金澤 佳織  
E-Mail ies\_keiyaku@ies.or.jp  
T E L 0175-71-1261 (直通)
- 11) その他
  - (1) 入札申込者心得書のとおり。
  - (2) 本件は、青森県からの令和8年度受託調査事業「排出放射性物質による環境影響に関する調査」の一部再委託（請負）として実施するものであり、青森県より当該許可が下りた場合、契約締結となる。
  - (3) 契約名称、契約締結日、契約相手の商号又は名称・住所、契約金額を当研究所ホームページに掲載する場合がある。

# 入 札 書

件 名：沿岸海域における海水及び堆積物採取作業

金 額：	円
<hr/>	
消費税：	円
<hr/>	
合 計：	円
<hr/>	

上記金額により契約条項を承認のうえ入札いたします。

令和 年 月 日

公益財団法人環境科学技術研究所

総務部長 佐々木 昭吉 殿

住 所

会社名

代表者

代理人

印

印

令和 年 月 日

## 質 問 書

公益財団法人環境科学技術研究所  
総務部長 佐々木 昭吉 殿

住 所  
会社名  
代表者

印

入札件名：沿岸海域における海水及び堆積物採取作業

### 【質問事項】

・

令和 年 月 日

## 委 任 状

公益財団法人環境科学技術研究所  
総務部長 佐々木 昭吉 殿

住 所  
会社名  
代表者

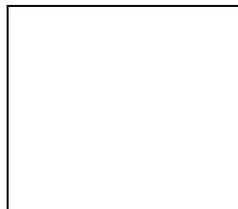
印

私は、下記の者を代理人と定め、次の権限を委任いたします。

受 任 者 住所  
所属  
氏名

委任事項 以下の入札並びに見積に関する一切の事項  
・沿岸海域における海水及び堆積物採取作業

受任者使用印鑑



# 沿岸海域における海水及び堆積物採取作業

## 仕様書

令和8年度

公益財団法人 環境科学技術研究所

### 1. 件名

沿岸海域における海水及び堆積物採取作業

### 2. 目的及び概要

青森県からの受託研究「大気・海洋排出放射性物質影響調査」では、大型再処理施設から排出される放射性核種の環境中における移行挙動及び蓄積実態に関する調査を行う。本受託研究の一部として、六ヶ所沿岸海域における環境試料中の放射性核種濃度調査を実施している。

本件は、大気・海洋排出放射性物質影響調査に用いる海水及び海底堆積物の採取作業である。

### 3. 作業海域

本作業を行う海域を図1及び図2に示す。



図1 海水試料の採取海域

\* ●は試料採取地点を表す。●は日本原燃株式会社が設置している海洋放出口を表す。



図2 堆積物試料の採取海域

\* ●は試料採取地点を表す。

#### 4. 作業の内容及び時期

##### 4. 1. 海水採取

図1における日本原燃株式会社が設置した海洋放出口周辺2km四方の9地点(黒点●で表示された部分)において試料採取を行う。各地点の1m及び20mの2深度より、それぞれ10Lの海水を採取する。ただし放出口直近(赤点●に重なる地点)においては、水深40mを加えた3深度より海水を採取する。これらの採取の際、水質センサーを用いて、採水地点における水温、塩分、溶存酸素及び光量子密度の鉛直分布(5m間隔)を測定する。採水した海水を入れるポリタンク及び光量子のセンサーに関しては、当研究所で準備したものを使用するものとする。光量子以外のセンサー類に関しては、マニュアル等に定められた方法により、測定値が校正されていることを十分に担保した上で使用する。

本作業は、令和8年の5月から6月中、及び10月中の各期間において1回行う(計2回)。この際、各月の金曜日、土曜日、及び日曜日を除く。採水した海水試料は採水日の16:00までに環境研の担当者へ渡すものとする。

##### 4. 2. 堆積物採取

図2における黒点(●)で表示された3地点において試料採取を行う。採取頻度は年1回、令和8年の4月から9月の間に海底堆積物を採取する。採取にあたっては基本

的にスミス-マッキンタイヤ型採泥器を使用し、1地点あたり2kg程度の試料を採取する。また、採取の際には水質センサーを用いて、採取地点における水温、塩分、溶存酸素の鉛直分布（5m間隔）を測定すると共に表層海水試料を採取する。採取した試料は、乾燥を防いだ状態で冷蔵保存、海水試料は常温保存し、採取後3日以内に当研究所職員へ引き渡す。なお、必要に応じて当研究所職員も同船する。

## 5. 提出書類

種類	内容	提出期限	部数
工程表	作業工程を示すもの	受注後速やかに	1
作業日報	作業状況の報告	毎作業終了後	1
作業報告書	試料採取の状況（日時及び場所、採取時の写真等）を示すもの	作業終了後速やかに	1
その他	当研究所の要求文書	要求後速やかに	必要部数

## 6. 契約期間

契約締結日～令和8年12月25日

## 7. 納入場所

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字家ノ前1番7  
公益財団法人 環境科学技術研究所

## 8. 検収

本仕様書に定める事項が確実に実施されたこと及び提出書類の確認をもって検収とする。

## 9. 協議

本仕様書に定めのない事項について打ち合わせの必要が生じた場合、受注者はその都度、当研究所と協議し、必要な措置を講ずること。なお、受注者が、当研究所との協議並びに必要な措置を怠ることにより生じた延滞等の損害については、一切受注者の負担とする。

## 10. その他

- ・作業海域を管理・管轄する関係各所に対する試料採取の許可手続き等は、受注者において行うものとする。
- ・本件で生じる費用は全て受注者の負担とする。
- ・作業期間中に発生した事故に関しては、一切受注者の責任とする。